

「第5回 平成20(2008)年度環境行動計画アンケート調査」の結果概要

2009年3月6日

(社) 日本ツーバイフォー建築協会

〔1〕 調査概要

(1) 調査目的

- ① 会員各社及び協会本部が、会員各社の環境課題への取り組み意識及び実態を相互に共通認識として把握する。
- ② 「環境行動計画」の次期改訂版(平成21(2009)年度版)検討のための基礎資料の収集。

(2) 調査方法

① 調査対象

当協会一種(A、B、C、D)正会員 483社(一部会員会社を除く)

② 調査方法

FAXで配布し、FAXにて回収

③ 調査期間

2008年10月2日から10月17日(回収は10月31日まで受け付け分を有効とした)

④ 回収件数等

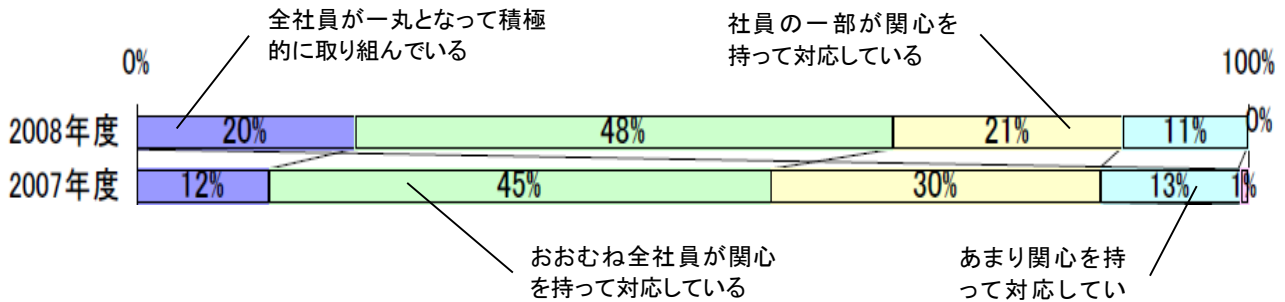
	配布数	回収数	回収率
第1種A正会員	15	8	53.3%
第1種B正会員	33	11	33.3%
第1種C正会員	142	38	26.8%
第1種D正会員	293	40	13.7%
総数	483	97	20.1%

<参考>

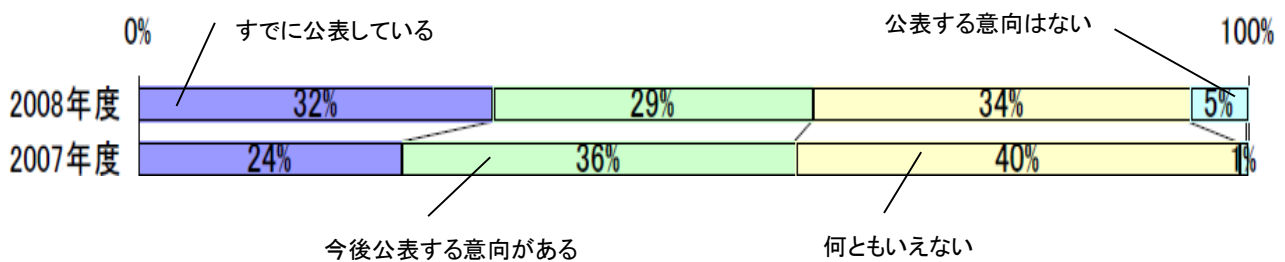
平成19(2007)年度	493	135	27.4%
平成18(2006)年度	521	165	31.7%
平成17(2005)年度	529	152	28.7%
平成16(2004)年度	534	161	30.1%

[2] 「環境」への取り組みに関する基礎的な情報

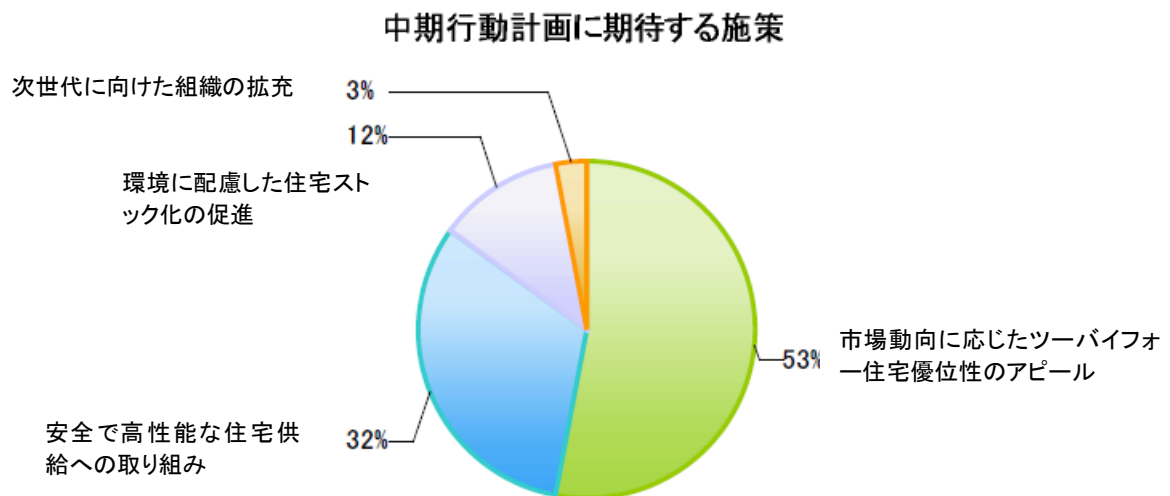
(1) 貴社の「環境」への取組状況について



(2) 「環境問題に関する取り組み姿勢」の報告書やホームページ等での公表意向について



(3) 「ツーバイフォー中期行動計画」に対して、協会に期待する施策について



[3] 「環境行動計画」への取り組み状況

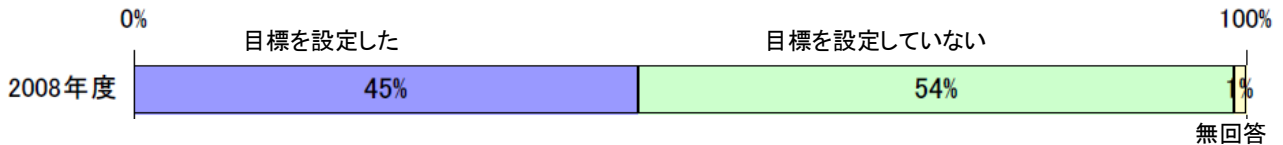
1. 温暖化対策の目標

1) 省エネルギー化の推進

① 「次世代省エネルギー基準」をクリアした住宅の普及拡大

◆ 「次世代省エネ」住宅を供給する目標の設定しましたか？

(協会目標は2010年度までに100%の会員会社が供給実績を持つ)



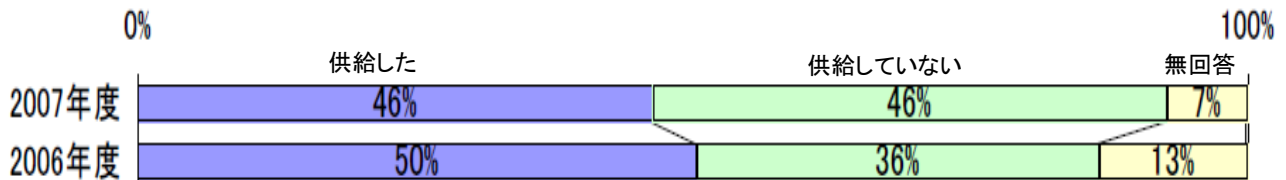
◆ 自社で供給する戸建て住宅のうち「次世代省エネ」住宅の割合を向上させる目標設定は何%でしたか？

(協会目標は2010年度までに60%)



【補足関連調査・2007年度の実績】

◆ 2007年度(2007年4月～2008年3月期)に「次世代省エネ基準(性能表示制度省エネルギー対策等級4相当)」をクリアした住宅の供給(着工ベース)をしましたか？



◆ 供給戸数に対する「次世代省エネ基準」住宅の割合

		供給総戸数(戸)	内、「次世代省エネ」住宅(戸)	割合(%)
2007年度	戸建住宅(注文・分譲)	12,573	6,609	52.6
	共同住宅	2,591	153	5.9
	計	15,164	6,762	44.6
2006年度	戸建住宅(注文・分譲)	22,213	12,650	56.9
	共同住宅	53,851	1,439	2.7
	計	76,064	14,089	18.5

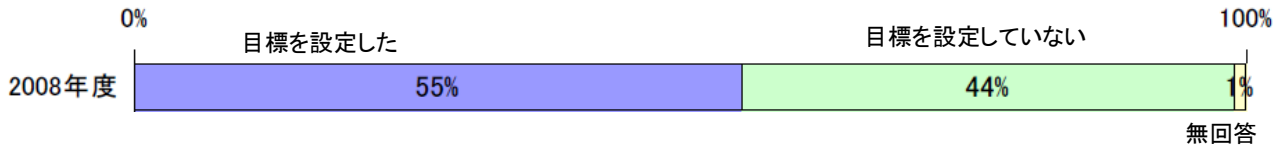
- アンケートに回答した会員の住宅供給総戸数に対する「次世代省エネ基準」住宅は、上表のとおりである。2007年度は戸建住宅の供給戸数12,573戸に対して「次世代省エネ」住宅は6,609戸で、その割合は52.6%となっている。

- 共同住宅はそれぞれ2,591戸、153戸、5.9%、計で15,164戸、6,762戸、44.6%であった。

②高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）を導入した住宅の普及拡大

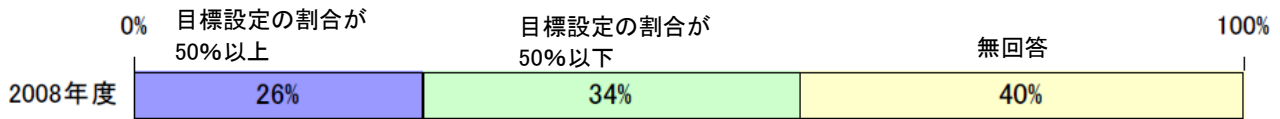
◆高効率給湯器を導入した住宅を供給する目標の設定をしましたか？

（協会目標は2010年度までに100%の会員会社が供給実績を持つ）



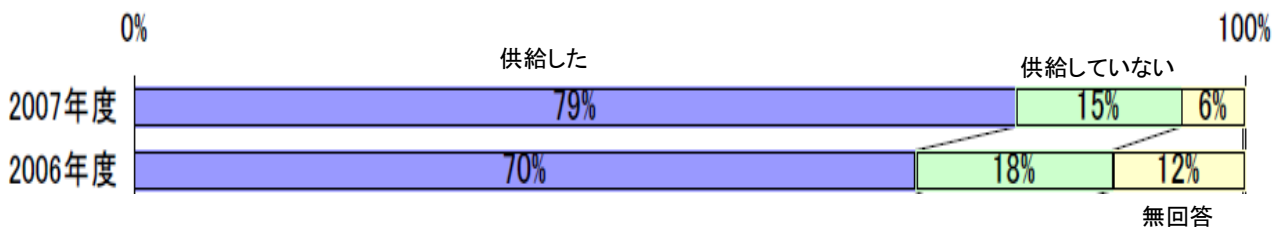
◆自社で供給する戸建て住宅のうち「高効率給湯器導入」住宅の割合を向上させる目標設定は何%でしたか？

（協会目標は2010年度までに50%）



【補足関連調査・2007年度の実績】

◆2007年度（2007年4月～2008年3月）高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）を導入した住宅の供給（着工ベース）をしましたか？



◆供給戸数に対する「高効率給湯器」導入住宅の割合

		供給総戸数(戸)	内、「高効率給湯器」導入住宅(戸)	割合(%)
2007年度	戸建住宅(注文・分譲)	12,462	5,325	42.7
	共同住宅	2,604	52	2.0
	計	15,066	5,377	35.7
2006年度	戸建住宅(注文・分譲)	21,715	7,866	36.2
	共同住宅	53,799	1,822	3.4
	計	75,514	9,688	12.8

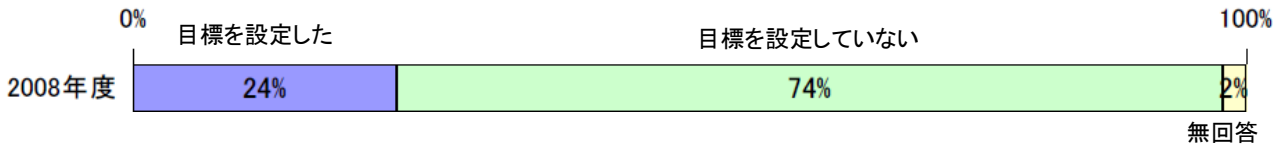
- アンケートに回答した会員の住宅供給総戸数に対する「高効率給湯器」導入住宅は上表のとおりである。戸建住宅では供給総工数12,462戸のうち「高効率給湯器」導入住宅は5,325戸、その割合は42.7%であった。
- 共同住宅はそれぞれ、2,604戸、52戸、2.0%、計は15,066戸、5,377戸、35.7%となっている。

2) 建設現場におけるCO₂排出量の削減に向けた活動の推進

①現場におけるCO₂排出量の削減に努める

◆建設現場における資材搬入車両、職方移動車両の削減に取り組み、エコドライブ（アイドリングストップなど）を実践する目標の設定をしましたか？

（協会目標は2010年度までに100%の会員会社が取り組む）



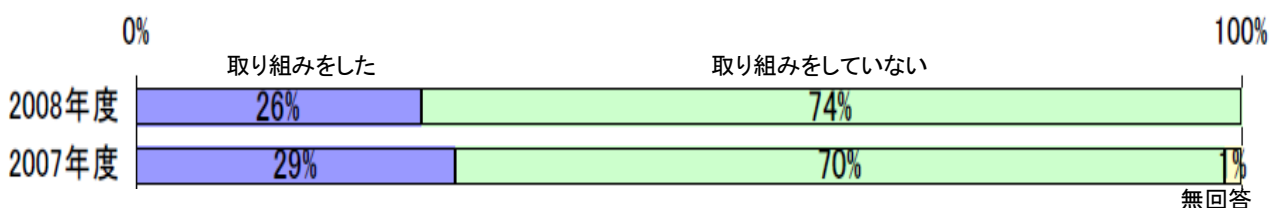
◆「目標を設定した」と回答した会員の具体的な取り組み内容

- ・全職方が参加する「施工登録研修会」で啓発する。
- ・資材合積みによる運搬車両の削減。
- ・エコドライブ講習の実施。
- ・エコドライブの推進。
- ・研修・啓蒙を行っている。
- ・各工事現場の駐車場を確保し、仮停車をなくす。
- ・現場に入る車の台数を少なくする（乗り合い移動の実施）
- ・搬入車両のアイドリングストップなど
- ・工所用電力の削減。
- ・燃料費の高騰もあり、エコドライブは当然ながら、現場へ向かう職方の車両を制限すること。
- ・電気を使用する道具のコンセントをこまめに抜く。
- ・パネル化の促進。
- ・産業廃棄物搬出量の削減。
- ・協力会社へCO₂排出抑制事項（アイドリングストップなど）を文書で要請。
- ・社用車、現場での重機、資材搬入車両のアイドリングストップ。
- ・協力業者様に対して現場への乗り合わせの依頼。
- ・ゴミの分別、リサイクル。
- ・職人へのよびかけ。
- ・基本的に電車移動としている。

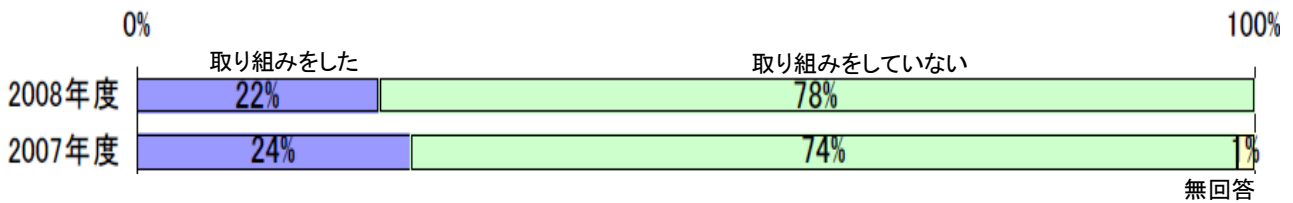
【補足関連調査】

建築現場における段階で、CO₂排出量削減に向けた取り組みをしていますか

◆現場施工時のCO₂排出量削減の取り組みをしましたか？



◆物流時のCO2排出量削減の取り組みをしました？



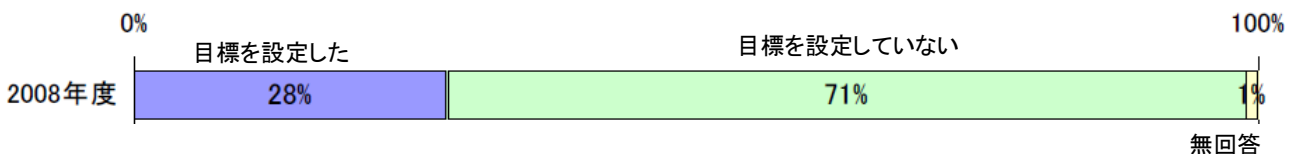
◆その他の具体的な取り組み

- ・建設発生土（掘削土）の処分地は地場の土木建設会社へ依頼し、運搬搬出車の走行距離を減らす等。
- ・詳細な工程表を1週間に1度全員が水曜日に修正し、月2～4回主な業者さんへメールで報告。それにより3回が2回にして作業が出来る現場施工体制を組んでいる。工事車両資材搬出車の回数を減少させている。
- ・建築廃材の削減。
- ・チームマイナス6%に参加している。
- ・ゴミ搬出量の削減。
- ・ダンボール等のリサイクル。
- ・廃棄物の削減（リサイクル）。
- ・ゴミの量を少なくする設計工法を採用。
- ・材木の切り無駄の出ない寸法体系でで作る。
- ・分別廃棄の徹底。
- ・作業所内外駐停車におけるアイドリングストップの推進と励行。
- ・廃材の利用（木工教室）

②住宅の長寿命化を積極的に促進する

◆性能表示制度に定める「劣化対策」「維持管理対策」の最高等級に相当する住宅を供給する目標の設定をしましたか？

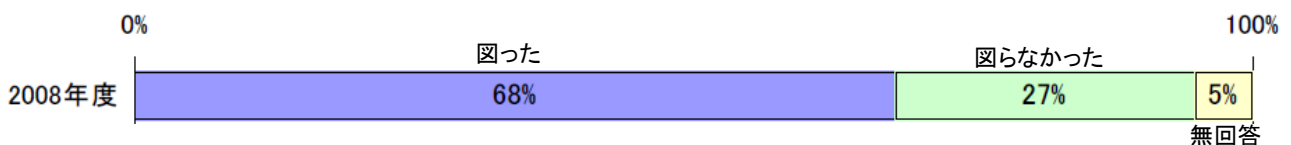
（協会目標は2010年度までに60%の会員会社が供給実績を持つ）



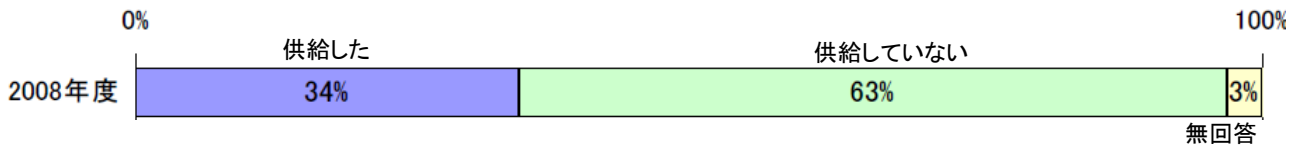
【補足関連調査】

ツーバイフォー住宅の基本性能については、長寿命化、耐久性の高いものを目指しましたか

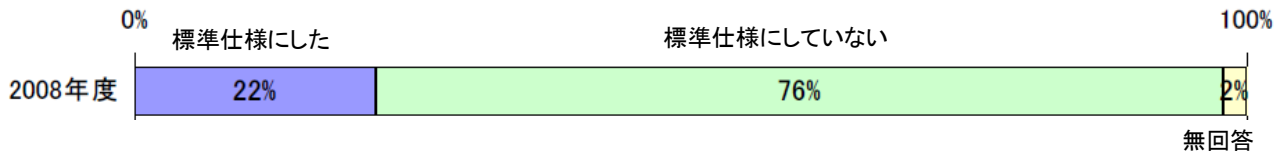
◆自社独自の仕様で耐久性の向上を図りましたか？



◆住宅表示制度に定める「劣化対策」「維持管理対策」の最高等級を選択したツーバイフォー住宅を供給しましたか？



◆住宅表示制度に定める「劣化対策」「維持管理対策」の最高等級を選択した住宅を自社商品の標準仕様にしましたか？



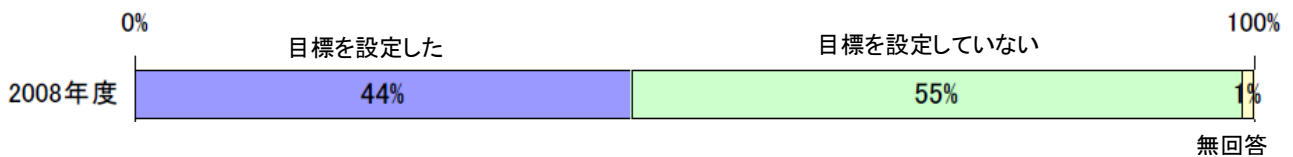
2. 廃棄物対策の目標

3R<リデュース（発生抑制・長寿命化）、リユース（再利用）、リサイクル（再資源化・再生利用）>の推進により廃棄物発生量を削減する

◆分別ルールを作成して積極的にリサイクル、リユースの促進に取り組む目標を設定しましたか？
（協会目標は2010年度までに100%の会員会社に取り組む）



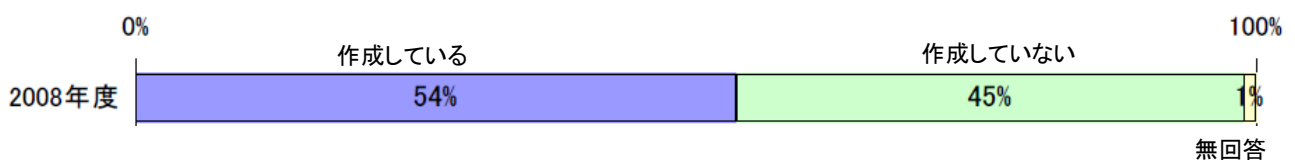
◆リデュースを促進させるため部資材の簡易梱包、コンポーネント化、パネル化に積極的に取り組む目標を設定をしましたか？
（協会目標は2010年度までに100%の会員会社に取り組む）



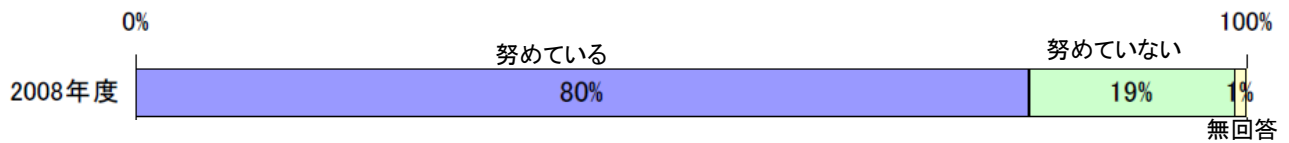
【補足関連調査】

産業廃棄物のリサイクルに努めていますか

◆自社の建物仕様に対応した分別排出ルールを作成していますか？



◆資材の有効利用に努めていますか？

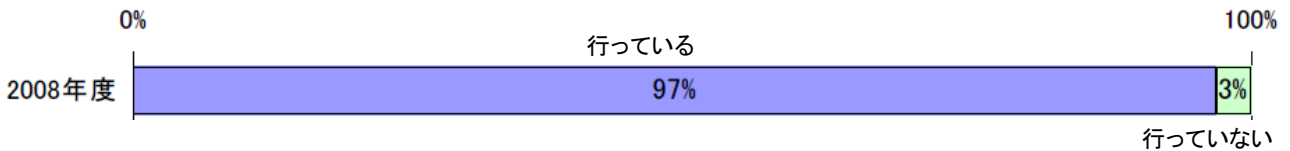


◆リサイクル状況を把握していますか？

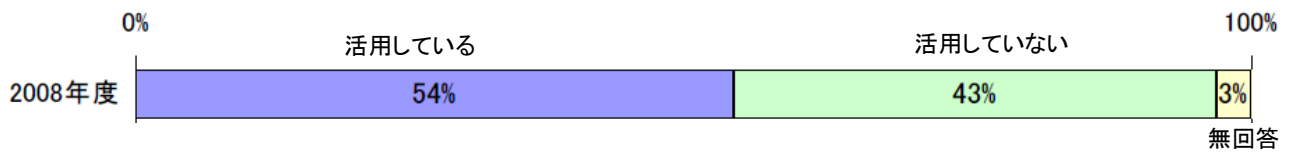


現場に極力、産業廃棄物となる可能性のあるものを持ち込まないように努めていますか

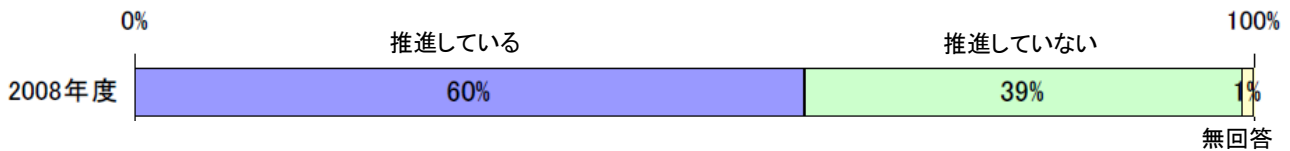
◆資材の発注にあたり適正な数量拾いを行っていますか？



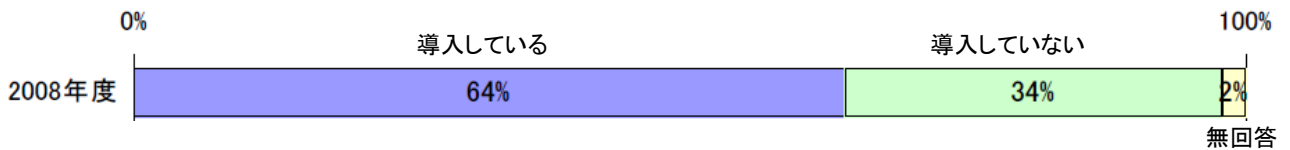
◆産業廃棄物の発生状況を確認し、資材発注段階での情報として活用していますか？



◆資材の簡易梱包を推進していますか？



◆部資材のコンポーネント化やパネル化を積極的に導入していますか？

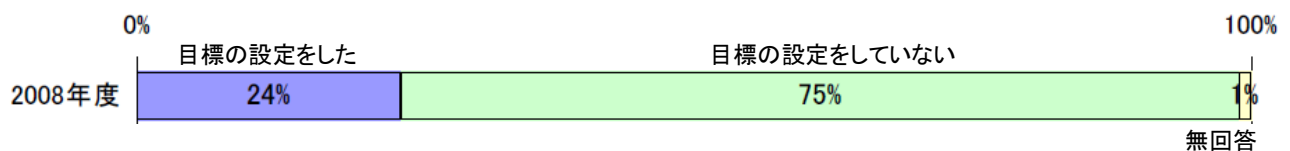


3. 環境配慮の目標

環境に配慮した経営方針を導入し実践していく

◆環境行動計画として環境マネジメントの仕組みを導入して取り組む目標を設定しましたか？

(協会目標は2010年度までに会員会社の100%が取り組む)



◆目標の設定を「した」会員の具体的な取り組み内容

- ・環境マネジメントシステム導入済み (ISO14001)
- ・ISO14001 自己適合宣言。
- ・独立・分社後、今後明確に設定していく。
- ・CO₂削減のため、省エネ等住宅建設にとりくむ。
- ・当社独自の環境マネジメントの仕組みの導入を開始した。
- ・社員教育（全社員向け）。
- ・ISO14001 による監査実施（社内）など。
- ・チームマイナス6%に参加している。
- ・ゼロエネルギー住宅を目指しサステナビリティという観点から優良な居住環境を創出することにより、環境負荷削減に取り組んでいる。モデルハウスを建設し東北大と共同で実験と検証をしている。
- ・CO₂排出量の削減、パネル化の推進、ゴミの分別リサイクル。
- ・みちのくEMS（仙台市）
- ・2008年6月商品内容変更 C値1.0以下 Q値2.0以下の目標設定。
- ・仕様、スペックの変更（フル装備仕様）。
- ・屋根断熱シート装置 LOW-Eフィルム、ナショナルライフニティ設置、省エネ照明の採用ほか。
- ・オール電化など。
- ・地熱利用のより安価で、より効率の高い方法をモニターしている（希望冬16～18度の地熱を利用したい）
- ・遮熱住宅で75% CO₂削減を目指している。
- ・タダのエネルギーを経費を最もかけないですむ活用方法を積極導入。
- ・自立循環型住宅のノウハウを活用。
- ・遮熱と地熱断熱を組み合わせ、既存住宅の75%のCO₂削減が切なる目標。
- ・CO₂削減住宅の推進。
- ・CO₂削減の為、省エネ等住宅建築に取り組む。
- ・断熱UVシールドCO₂削減君を取り入れた。
- ・（窓ガラスに断熱コーティング）①赤外線カット②遠赤外線カット③節電、紫外線99%カット④紫外線に集まる昆虫を寄せ付けにくい。

【補足関連調査】

木材購入に際してトレーサビリティ（履歴がたどれる木材）について、どう考えていますか？

